

けやき倶楽部歴史グループ分科会 4 月度活動報告

日 時	2021 年 4 月 20 日 (火) 10:30~12:00
場 所	オンライン分科会
参加者 氏 名	12 名
次 回 予 定	<p>1. 歴史分科会の新たなテーマ選定と運営</p> <p>(1) テキスト 羽田正『東インド会社とアジアの海』講談社学術文庫</p> <p>(2) 今後の学習の進め方</p> <p>学習を充実させるため、各章ごとに 2 か月ていど時間をかけるとともに、司会者も 2 名にする (Tkd、Yki)</p> <p>(3) 各章の要約を担当者が分科会で説明 担当者一覧</p> <p>一章: Yki、二章: Tki、三章: Sky、四章: Tcd</p> <p>五章: Kb、六章: Wty、七章: Knt、八章: Wkb</p> <p>久章: Mym 冒頭の「はじめに」本日 Tkd が発表</p> <p>2. 会員発表</p> <p>(1. ) Yki「大航海時代前後史」</p> <p>封建社会: 貴族・教会の封建貴族と農民の農奴身分の固定化。都市は商品交換・貨幣経済の拠点。手工業者と商人層の都市経済の発展が都市領主を越えて国王と手を結ぶ。13 世紀以降、都市領主の支配から脱し国王による封建貴族への圧迫と権力の集中、封建社会の崩壊へ進む。東方貿易上の必要性から新航路・新大陸の発見: スペイン・ポルトガルの植民地経営により①銀の大量流入→価格革命→旧領主層の没落、農村マニュファクチャの勃興→農村の資本主義化②毛織物需要拡大③スペイン・ポルトガル絶対王政の財政確立 (16C に最強)、④天動説から地動説のような教会的地理宇宙観から合理的科学観に 15~16 世紀</p> <p>質疑: 黒死病との関係は⇒カトリック教会支配の中世社会の崩壊と近世への引き金</p> <p>(2) Tkd「東インド会社」</p> <p>十五世紀末に幕を開けた大航海時代を皮切りに、それまでにすでに存在していた世界各地の地域間交易、地域内交易は、相互に結びつきを強めるようになっていく。地域世界の一体化、グローバル化への道のりはここにはじまっていた。長くアジアの後塵を拝してきたユーラシア極西部の国々が世界を圧倒し始めた。宗教改革やアメリカ独立革命、フランス革命を経て成立した国民国家と、産業文明による近代化の過程を、英、欄、仏の東インド会社の活動を通してみたい。</p> <p>2. 今後の予定一次回オンライン分科会</p> <p>開催日時: 2021 年 5 月 18 日 (火) 10:30 -12:00</p> <p>テーマ : 第一章「ポルトガルの海の帝国とアジアの海」</p>